島原市まち・ひと・しごと創生推進事業

企業様からの寄附を募集いたします。

長崎県 島原市

島原市の応援をお願いします

■はじめに

島原市は、人口減少や少子高齢化を克服するため、平成２７年１０月に第１期（平成２７年度から平成３１年度まで）の「島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各種施策を講じてきました。事業効果が出てきている施策もある一方で、今もなお、人口減少は進んでいます。

そのため、「第１期 総合戦略」の取組みをさらに推進し、着実なものとしていくため、それぞれの事業項目に具体的にSDGsの目標も掲げ、新たに「第２期 島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定（令和２年度～令和６年度）しました。

島原市の計画にご賛同いただき、島原市を応援していただければ幸いに存じます。

■総合戦略の構成

基本的な方向性は、政策４分野から構成されます。

- Ⅰ　しごとをつくり、安心して働けるようにする
- Ⅱ　新しいひとの流れをつくる
- Ⅲ　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- Ⅳ　時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

第２期 総合戦略《全体概要》

■策定イメージ

『湧水』：島原市ブランドイメージ

清らか・安心な産品イメージ	自然と歴史豊かな地域イメージ		子育て環境イメージ
豊かな農水産物	藩政期の歴史	移住・定住	子育てにやさしいまち
生産基盤の強化	島原城築城 400 年	移住者への各種支援	出会い・結婚応援
後継者対策	協働での観光地づくり	空き家バンク	住まいへの支援
新たな担い手確保	周遊ルートの開発		育児用品の支援
スマート農業・漁業の推進	１号機関車	インターンシップ	保育料・医療費・副食費支援
加工品の商品開発支援	古民家等の活用	お試しワーキング	学力向上対策
海外を含めた販路拡大	国際観光スポーツ交流都市	関係人口の創出・拡大	就学費用の支援

「しごと」と「ひと」の好循環を生み出すまちづくり

儲かる産業
2024 年 目標
- ●儲かる農家を増加させる農業所得 600 万円以上
  - ・240 経営体 ⇒ 290 経営体
- ●農林水産業新規就業者
  - ・毎年 17 人就業
- ●高校新卒者の市内就職率
  - ・27% ⇒ 30%

交流人口の拡大
2024 年 目標
- ●観光入込客数：1,382 千人 ⇒ 1,412 千人
- ●宿泊者数 ： 223 千人 ⇒ 265 千人
- ●観光消費額 ： 134 億円 ⇒ 198 億円
- ●移住・定住者数 ： 50 人 ⇒ 100 人

出産希望を叶える
2024 年 目標
- ●合計特殊出生率の向上
  - ・1.93 ⇒ 2.1
- ●休日保育
  - ・4 か所 ⇒ 7 か所
- ●病児・病後児保育
  - ・3 か所 ⇒ 6 か所

2035 年 将来の姿
- ●農業産出額
  - ・206 億円 ⇒ 215 億円
- ●地域内食料自給率
  - ・88% ⇒ 100%

2035 年 将来の姿
- ●観光入込客数
  - ・1,382 千人 ⇒ 2,200 千人
- ●宿泊者数
  - ・223 千人 ⇒ 300 千人
- ●観光消費額
  - ・134 億円 ⇒ 220 億円
- ●ＵＩターン希望者の受入者数の増加

2035 年 将来の姿
- ●2035 年の人口
  - ・人口 4 万人を維持
- ●合計特殊出生率
  - ・1.93 ⇒ 2.1
- ●生産人口の維持

「しごと」と「ひと」が輝くための基盤となるまちづくり

基幹道路網の整備	広域的公共交通	地域内公共交通
島原道路の整備	半島航路	島原城周辺無電柱化
	九州新幹線西九州ルート	小さな拠点

Ⅰ　しごとをつくり、安心して働けるようにする

島原ならではの「しごと」を大きく育てることにより、安定した雇用を継続的に創出するとともに、生産性の向上等による競争力強化を図ります。

【SDGs】関連する主な目標

○水産業振興事業

⇒ヒラメやカサゴなどの中間育成放流を行い、資源量の増加を図ります。

○農業振興事業

⇒新規就農者や認定農業者等の経営改善に必要な農業用施設や農業用機械等の導入を支援し、経営規模の拡大や省力化・効率化を進め、新規就農者の育成確保や安定した経営体を育成します。

○地場産業事業拡充促進事業

⇒新規雇用を行う地場企業の事業拡大の取組に対し、支援を行います。

など

Ⅱ　新しいひとの流れをつくる

島原の地域資源である「湧水」「温泉」「普賢岳」「ジオパーク」「有明海」「歴史」「鉄道」を島原にしかないストーリーで紡ぎ、交流人口を拡大し、そして「島原に住んでみたい」と思ってもらえる「ひと」の流れを生み出します。

【SDGs】関連する主な目標

〇移住・定住促進事業・島原暮らし促進事業
⇒移住に関する戦略的な情報発信と移住希望者をサポートし、移住を促進します。

〇島原城築城４００年武将隊ＰＲ事業
⇒武将隊や甲冑を活用し、観光客へのおもてなしや観光PRを行います。

〇堀町縦線整備事業費
⇒国道251号から市道外港大手広場線までの約550m区間の整備を行い、市内の交通環境を整えます。

など

Ⅲ　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

島原で出会い、島原で「産んで良かった」「育てて良かった」「働いて良かった」「住んで良かった」と実感できるように「とことん子育てにやさしいまちづくり」を目指します。

【SDGs】関連する主な目標

〇しまばら結婚サポート事業

⇒総合的な結婚支援を行うため、相談希望者のカウンセリングや企業間のマッチング等を行い、少子化対策や定住促進を図る。

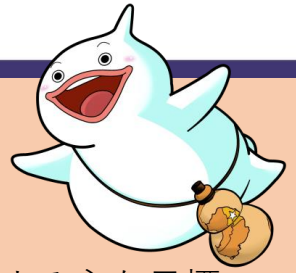
〇病児保育事業

⇒児童が病気で通常の保育では対応できない場合、病院などで預かることで、子育て世帯の支援を図る。

〇休日保育事業

⇒日曜・祝日などに、家庭で保育ができない場合、乳幼児を実施保育所などで預かることにより、子育て世帯の支援を図る。

など



Ⅳ　時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

島原版コンパクトシティと周辺等との交通ネットワークの形成による定住環境の向上、教育の充実、地域医療の確保と高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり、安全・安心で環境にやさしいまちづくり、地域コミュニティ活動の推進・支援のほか、次代にあったスマートシティ構想を推進します。

【SDGs】関連する主な目標

〇コミュニティバス運行事業

⇒通勤・通学、買い物や憩いの場への移動など、地域住民の生活に密着したコミュニティバスを運行し、地域住民の利便性の向上、高齢者の社会参加の促進を図ります。

〇「夢の教室」公演事業

⇒夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することにより、子どもの情操教育の充実を図ります。

など

～ お問合せ先 ～

企業版ふるさと納税に関すること：島原市商工振興課

電話　0957-63-1111（内線575）

E-mail　shoko@city.shimabara.lg.jp

まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること：島原市シティプロモーション課

電話　0957-63-1111（内線147）

E-mail　promo@city.shimabara.lg.jp